

建設関連業検討会

設立趣旨

測量業、建設コンサルタント及び地質調査業(以下「建設関連業」という。)は、建設生産システムの「上流部」に位置し、その成果が最終的に社会資本の品質を大きく左右するものであるが、現下の厳しい環境の中で、今後、建設関連業がいかなる役割を果たしていくべきかが改めて問われている。

国土交通省においては、平成14年6月に『建設関連業展開戦略』をとりまとめた。これは、建設関連業の課題について整理を行った上で将来像を展望し、企業の経営戦略の策定やこれを支援する業界団体の活動に当たっての指針として提示されたものである。

その後、上記指針の提示を踏まえ、様々な取組みがなされているものと思量されるが、建設産業をとりまく環境は常に変化し、昨今は特に厳しさを増している。

このような背景のもと、本検討会は、『建設関連業展開戦略』をレビューするとともに、国土交通省における建設関連業の健全な発展に向けて講ずるべき諸施策について、国土交通省、学識経験者、関係団体の三者により相互の意見交換を行うものである。